



金山町議会だより

第228号

令和7年2月6日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341

令和
6年度

合同

お

ゆ

う

ぎ

会



〔12月定例会 会期12月6日～10日〕

- ・議長新年のあいさつ……………2
- ・補正予算・議案審議等……………3
- ・一般質問 6人が登壇……………4
- ・町民懇談会……………10
- ・臨時会、お知らせ……………11

川口保育所・横田保育所合同おゆうぎ会(令和6年12月)



金山町議会議員集合写真

新年を迎えて

町民の皆様には、日頃から町議会に対しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。遅れ馳せながらではありますが、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2025年が皆さまにとって明るく実り多い一年となりますようお祈り申し上げます。

今年「巳年」です。我々議員8名、へびのようにしなやかに柔軟な姿勢を大切に、変化を恐れず新たな挑戦に取り組みながら、金山町の課題解決に向け、一步一步着実に前進していきたいと考えております。人口減少、高齢化、人材不足など数多くの課題があります。今年も「おらほの議員としゃべってみませんかの会」を開催いたしますので、町民の皆様からのご意見・ご要望をお聞かせ頂ければと考えております。町民のご意見・ご要望を執行機関である町と共有し協議しながら町民の生活向上のために活動して参ります。また、年4回の定例会へも足を運んでいただきたいと思います。

議員8名、力を結集して町の課題解決のため、全力で邁進してまいります。

(金山町議会議長 五ノ井義一)

12月定例会

12月定例会は、12月6日から10日にかけて開催され、一般会計補正予算・条例の改正など9議案が提案され、原案の通り可決されました。一般質問は、6人の議員により行われました。

●補正予算（議案審議）

一般会計…歳入

川口高校学生寮（若桐寮）県負担金について

問 若桐寮、県寄宿舎は最大で何人収容可能か。現在何人入寮しているか。また、川口高校の募集定員は何人か。

答 教育次長 それぞれの寮の最大の収容人数は若桐寮52名、県寄宿舎36名です。現在の入寮状況は若桐寮43名、県寄宿舎9名。川口高校の募集定員は40名です。

問 現在2つの寮で52名入寮しており残り36名。卒業生と入学生だけでなく、募集定員40名として、可能性として許容人数を

超えることもあるのでは。福島県の考え方は把握しているのか。

答 教育次長 地元からの自宅生がどの位になるのかもありますが、県の県立高校改革室が、町と協議した経過はありません。

問 町長の考えは。

答 町長 今までは目先の部分での協議でした。今後協議していきたいと考えています。

一般会計…歳出

商工費広告料

問 広告料100万円。内容は。

答 商工観光課長 あい

せき列車只見線第3弾を地上波で放映するもの。只見線を通して町をPRすることになります。

スキー場施設修繕費

問 スキー場の給水施設修繕費200万円。修繕内容は。

答 商工観光課長 スキー場山腹の配水池からレストハウスまでの配水管布設工事です。

反対討論

加藤賢享議員

議案第44号議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正に反対の立場で討論いたします。

議員報酬は報酬月額が引上げられたばかりであり、今回の期末手当の支給月数引上げには反対いたします。町民に対して抵抗があり、また、住民の代表としてまだまだ議員活動が足りないと思っています。このような理由で反対いたします。

■議案等審議結果一覧（一部を掲載しました。）

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）
※賛成「○」 反対「×」

件 名	議決結果	大竹一樹	加藤賢享	安藤雅朗	加藤夕子	坂内譲	栗城康太郎	横田正敏	五ノ井義一
■第6回定例会（12月定例会） 令和6年12月6日～10日開催									
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について（福島県人事委員会の勧告に準拠し改正）（期末手当：0.05月／年引上げ）「加藤賢享議員反対討論」（3段目）	可決	○	×	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません
金山町長等の給与及びその他の給付に関する条例の一部改正について（町長、副町長、教育長）（福島県人事委員会の勧告に準拠し改正）（期末手当：0.05月／年引上げ）	可決	○	○	○	○	○	○	○	
職員の給与に関する条例及び金山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について（福島県人事委員会の勧告に準拠し改正）（職員給料：平均2.8% 期末手当：0.05月、勤勉手当：0.1月引上げ）など	可決	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度金山町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	



毎年行われている、明治大学・福島大学生による
エゴマ植え付け体験(上横田地区)
関係人口へと繋げていくには！

あん どう まさ あき

安藤雅朗議員の

一般質問



時代に合った集落の在り方とその支援について

地域と一緒に考えるー町長

人口減少により集落で

の活動を維持することが

困難となる地域が増加

し、集落の実情に合った

取り組みを地域住民と町

が一緒になって考えてい

くことが必要とされる。

今後どのようにして各集

落の維持、整備に取り組

んで行くのか、町の考え

を伺う。

問① 町では職員地区担

当制を設置している。そ

の目的と活動内容は。

答 町長 職員が各地区

において、情報交換、研

究及び討議を行い、地域

住民と協働で地域づくり

に関わり、地域づくり

に関する企画提言の調整役

を果たすことを目的とし

ています。

活動として、「町づく

り懇談会」を開催する際

の日程調整や会議の進

行、会議記録の作成など

のほか、担当地区への非

常用持ち出し袋やエゴマ

油の配布などを行っている

のが現状です。

問② 今まで共同作業や

除雪等共助作業において

も継続が難しい集落が出

てきている。関係人口の

活用は考えられないか。

答 町長 関係人口とは、

特定の地域に継続的に多

様な形で関わる人で、観

光と移住の中間にあるも

のと理解しています。

町では、高齢者宅など

の除雪について、社会福

祉協議会が窓口となり、

県内外の団体による除雪

作業をしていただいてい

ます。集落内の共同作業

についても、各集落で出

身者などと連絡を取り合

い、関係者と共に作業を

行っている集落もあると

承知しています。

集落の高齢化が進み、

集落維持活動が困難な地

区もあることから、先進

事例を学び、集落維持活

動の支援ができるように

取り組みたいと思います。

問 町では、明治大学、

福島大学の学生と交流事

業を行っています。特定

の農家等との交流と思い

ますが、行政区との交流

事業に変えられないか。

答 町長 同じ地域を対

象にした行動でなくとも

良いと感じています。受

け入れる行政区の意欲の

意向を確認し、交流人口、

関係人口に繋がる取り組

みをしていきたいと思

います。

問③ 地域づくりにお

いて重要なのはそこに住

む地域住民の自主性と考

えるが、その自主性とや

るべき支援するような事

業を実施する考えは無い

か。

答 町長 町では普請な

どでの重機借上げや集会

施設の環境整備、地域の

魅力向上応援事業などの

支援を行っています。地

域づくりでは、行政支

援だけでなく、住民の自

主性が重要だと考えてお

ります。

今後時代にあった先

進事例を研究し、関係者

のアドバイスをいただき

ながら、地域が自主的に

自立を目指した取り組み

ができるよう、地域と一

緒に考えていきたいと思

います。

問 地域づくりで研修し

安藤議員からは、この

他に「小規模の農家が生

産しやすい環境整備を」

の質問がありました。

議員のひと言

集落維持に必要な施策の
展開を！



金山町地域防災計画について

テーマを絞った訓練も必要――町長

問① 住民の防災意識高揚の取り組みについてどのような施策を講じているのか。

答 町長 町では、非常用持ち出し袋や防災マップを配布し、広報紙で避難の目安や非常時に必要な持出品や備蓄品等の案内を行うなどしています。

また、行政区を単位とした自主防災組織には、地区の防災体制や避難情報、要支援者、備蓄物資等について整理した地区防災計画を作成いただく取り組みを始めており、共助による災害への備えを促しているところで

す。

しかしながら、年々進む高齢化と人口減少により団員確保を始めとして、災害時対応はより難しい課題が多くなっています。

問④ 避難所などの機能強化について。

答 町長 避難所は、災害時に居住場所を確保できない人たちの収容保護を目的として、物資の運搬・集積・炊事・宿泊など利便性を考慮し、学校・公民館などを指定しています。避難場所は、災害時の一時避難場所として、各地区の集会所などを指定しています。

また、避難所等への防災備蓄は町内3カ所の防災備蓄倉庫で防災備蓄資材等を管理しています。避難所等への備蓄は基本的にやっていませんが、大雨等により高齢者等避難を発令した場合に備え、4カ所の避難所には、毛布や感染対策資材等を配備しております。今後は、その他の避難所についても対応を広げて参りたいと考えております。

また、行政区を単位とした自主防災組織には、地区の防災体制や避難情報、要支援者、備蓄物資等について整理した地区防災計画を作成いただく取り組みを始めており、共助による災害への備えを促しているところで

す。

しかしながら、年々進む高齢化と人口減少により団員確保を始めとして、災害時対応はより難しい課題が多くなっています。

問③ 災害情報の伝達体制、避難誘導体制の維持・充実にについて。

答 町長 災害時には、停電などにより、災害情報の収集や伝達手段が大きく閉ざされる場合が想定されます。

議員のひと言
地域の実態に即した防災計画が必要！

新年度には、避難所や避難場所の施設内でWi-Fi通信が行えるよう

また、避難所等への防災備蓄は町内3カ所の防災備蓄倉庫で防災備蓄資

また、避難所等への防災備蓄は町内3カ所の防災備蓄倉庫で防災備蓄資

また、避難所等への防災備蓄は町内3カ所の防災備蓄倉庫で防災備蓄資

老人クラブ活動に対する補助金の在り方について

全てのクラブが連合会へ――町長

問 各地区で老人クラブ活動が活発に行われている。交付対象が町老人クラブ連合会加盟の老人クラブとなっている。活動を

老人クラブに補助金を交付すべきと考えます。

答 町長 現在、地区老人クラブ9クラブとその連合組織として金山町老人クラブ連合会が組織さ

連合会組織を維持しているためにとともに活動し、他の地区老人クラブとも交流を深めていただきたいと思います。

活動を

老人クラブに補助金を交付すべきと考えます。

現在、地区老人クラブ9クラブとその連合組織として金山町老人クラブ連合会が組織さ

連合会組織を維持しているためにとともに活動し、他の地区老人クラブとも交流を深めていただきたいと思います。



消防団員、機能別団員、婦人消防クラブ参加
避難行動、避難場所の運営など共助による
災害時に対応するための勉強会(10月：玉梨地区)



「地熱発電のことをもっと知ろう」講演会(12月)
地元への利益還元、リスク等についての説明
町内外から約40名が参加しました

ばん ない ゆずる
坂内 議員の
一般質問



地熱発電のポテンシャル調査について

科学的データにより考えるー町長

奥会津地域で、地熱発電のポテンシャル調査が行われたということを聞きました。町内には7ヶ所の自慢の温泉がありま

す。町の未来に有効な事業なのかと、しっかりと考えていかなければならないと思います。町の考えを伺う。

問① エネルギー開発に対する町の受止めは。

答 町長 調査は町が依

頼したものではありませんが、経済産業省が所管する独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構、通称JOGMEC(ジョグメック)が実施するもので、沼沢湖を中心とした地域が地熱発電の可能性があると考えられるため調査を行うもので、本年度は他にも東北や九州の数か所で行われる予定とお聞きしております。

問② 過去の地熱発電についての顛末と町の受け止めは。

答 町長 平成27年に民間事業者から再生可能エネルギー事業、具体的には500kw程の小規模な地熱発電とその熱源を

調査対象地域は、沼沢湖を中心とした金山町と三島町に跨る区域で、横田地域は含まれておりま

せん。調査内容は、地表の岩石や沢水のサンプル分析と地表の電磁波を測定する調査を行い、その結果により、次年度以降の調査を継続するかどうか判断するとのことでした。

地熱発電が地域経済の活性化に貢献し、温泉や自然環境への影響が最小限に抑えられる見通しがある場合、積極的に推進する価値があると判断致します。特に、町の温泉や自然環境は守るべき重要な資源であります

有効な活用を図ることも重要です。町は公平な立場で住民との対話を重視

防犯の考え方の見直しが必要なのは

警察署、駐在所との連携強化をー町長

問 日本全国で凶悪な強盗・強奪事件が都市部で特に多発している。奥会津周辺でも南会津田島で強盗被害がありました。

答 町長 強盗や空き巣、忍込み、事務所荒しなど様々な犯罪に対しては会津坂下警察署や駐在所の指導に基づき対応して参

りました。これまでも、高齢者の方が「なりすまし詐欺」に合わないよう警察署等と情報共有を図りながら、広報紙や防災無線による注意喚起等を中心

に被害防止に努めて参ります。

えや心構えなど考えてい

ます。

きとところであります。これまで以上に警察署や駐在所との連携を密にして、町民の被害防止に努めて参りたいと考えております。

議員のひと言

資源活用によるエネルギー政策は、自給自足で。



9月に行われた敬老会(町民体育館：中川地区)
今年度参加者は対象者の1/4程度
どうすれば参加していただけるのか？



かとうけんこう
加藤賢享議員の

一般質問

高齢者の安心安全な生活に向けて思いやりのある取り組みを

高齢者に寄り添った政策を――町長

問① 敬老会が毎年開催されているが、毎年参加者が少なくなっている原因は。

答 町長 毎年、敬老の日に75歳以上を対象に開催し、各方面にバスを配車し、参加者に満足していただけるよう工夫を凝らし実施してきました。

参加者は、コロナ禍前は、40%を超える参加率でコロナ後は令和5年度23%、令和6年度24%と

大幅に減少しています。

原因は、詳細な調査は実施していませんが、高齢化率が高いため、コロナ後も継続的に感染対策の意識が高く、多くの人が集まるイベントに対して、まだ、拒否感が強いことも一つの要因と考えられています。

問 県下一の高齢の町なので、成人式を1月の成人の日から8月のお盆に時期をずらしたように、9月の敬老会が暑くて食中毒が心配で折詰めが出せないなどの心配があるなら、時期をずらして高齢者を楽しませることを考えて欲しい。

答 町長 新型コロナウイルス感染症が5類になって20%強の参加率です。2年間は飲食を伴わない敬老会でした。来年度からはもっと参加していただける敬老会にしたいと思います。

問② 家庭用エアコン設置に対する補助について。

答 町長 令和3年度に全国的に蔓延した新型コロナウイルス感染症対策により、国による非常事態宣言や、福島県独自の対策による県境を越える外出自粛や、不要不急による外出禁止などにより屋内での滞在期間が増え、特に夏場、在宅で過ごす時間が長くなった高齢者の熱中症対策として、1

年限りの事業で65歳以上の高齢者のみの非課税世帯に対し、エアコン設置に係る費用の4/5、補助上限16万円を助成した事業です。

問 新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでは補助金を継続すべきだと思いましたが。これから夏の気温が益々高くなることから予想されます。今後補助をする考えはある

か。

答 町長 小・中学校、保育所とエアコンを設置し快適な日常を過ごしてもらっています。高齢者に対する支援の必要性は認めており、十分検討させていただきます。

問③ 高齢者宅を狙った強盗が全国各地で多発している。犯罪の抑止力には防犯カメラが有効と思う。町内の設置状況は。

答 町長 犯罪の抑止力として防犯カメラの設置は有効と思われます。このため、町内の公共の秩序維持及び犯罪防止を目的として、現在は、25カ所の公共施設に合計で50台の監視カメラを設置してあります。

問 高齢者の防犯対策として各地区の道路、各家の周辺へのカメラ設置を早急に実施して欲しい。安全安心に繋がると思う

が。

答 町長 各集落の出入り口付近に、将来的には設置し防犯にあてたい考えです。高齢者が不幸にも行方不明になった場合にもカメラを活用すれば早期発見に繋がると考えます。

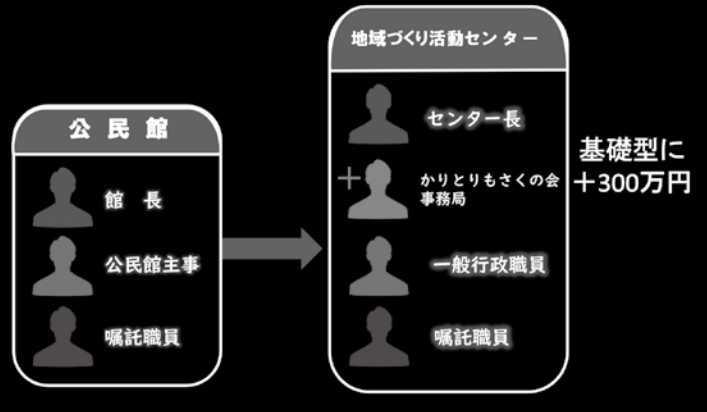
問④ 携帯電話の電波状況が悪い場所についての対策は。

答 町長 通信事業者ごとに通信エリアが異なりますので、電波状況に差があるものと認識しております。電波状況の思わしくない地域については、各通信事業者において対策されていますが、状況によってはおきかたがた、状況によっては町からも通信事業者への働きかけを行って参りたいと考えております。

議員のひと言
高齢者への思いやりを！

■地域づくり組織の事務局強化

(地域任用職員の配置)



視察先の愛媛県西予市
(せいの地域づくり交付金制度)

行政区に対し目配りをして支援強化を

より良い支援に努めるー町長



よこ た まさ とし
横田正敏議員の

一般質問

本町には、住民の生活基盤として30行政区があり、それぞれの連帯意識をもとに地区活動をしている。しかし、急速な人口減少と高齢化の進行、担い手不足により、人材組織の低迷や集落機能の維持が困難になってきている。今こそ、各行政区に対し目配りをして、様々な支援を強化することが必要と考える。

問① 町は、冬場の生活

環境改善のため、地区の小型除雪機械購入に対する補助をおこなっている。物価高の影響で2割から3割高額となっている。地域の生活を維持するためにも、実態に即した助成を求める声をくみ取って欲しいが、町長の見解を伺う。

答 町長 町では、除雪支援として地区への購入補助を行っています。近年は、物価高騰が続

き、価格も上昇していますが、宝くじの収益を財源とした「コミュニティ助成事業」は、上限額が250万円ですので、公平性を考慮し、町単独費

での事業も補助上限額を同額としています。地区にある程度の負担をしてもらうことは、除雪機械の維持管理費の低減、機械を大切に使うことにつながる面もあり、満額助成が正しいとは考えてい

ません。異常な物価高であり、事業の趣旨を鑑みより良い支援について研究して参ります。

問 普通の物価高ではなく、複数の行政区では250万円の助成では小型除雪機を購入できないとの話を聞いています。除雪は「支え合いの町金山」の一番具体的なもので

す。支援をお願いしたい。答 町長 除雪機械の高騰は半端でないと認識しています。それ相応の負担をいただきながら、見直す必要があると認識しています。

問② 刈り払いが大きな割合を占める普請が困難になってきている。共助・公助の今後の在り方について、どう考えているか

同。答 町長 町では、重機借上げの支援や町管理の農林道の除草範囲の見直

し、災害時の支援、水路・水門や頭首工の維持補修などを行い、地区の負担軽減に努めています。今後も地区と相談していくことが必要と考えています。

問 小型除雪機の夏バードジョンで、集落単位での草刈機の配置の考えは。

答 町長 農林道等は本来管理者である町が行うべきと思っています。地区の善意に寄りかかってきたのが現状です。地区の負担軽減を図って行きたいと考えています。

問③ 行政区が元気に活性化する契機となる補助金の創設を。

答 町長 今年度までは「地域の魅力向上支援事業」で実施していますが、メニューを限定せず地区全体で取り組む事業を応援していく必要があります。行政からの押し付け

ではもうだめだと思えます。地域の活性化が進むような事業を是非やりたいと考えています。

問 今年度行政視察したところは、公民館を「地域づくり活動センター」として地域づくり活動をしています。嘱託職員、地域おこし協力隊、あるいは集落支援員を配置し

地域づくりのモデルを作れません。まずは、横田地区の横田公民館範囲、横田小学校の範囲で、いかがですか。

答 町長 出来上があれば最高だと思います。地区の活性化について、公民館の今後の在り方も含め、人材確保など課題山積と思いますが考えさせていただきます。

議員のひと言
行政区も物価高騰で困っています



今年度屋根葺き替えが完了した旧五十島家住宅
県の重要文化財(中川道の駅)
室内の民具を含め観光素材となるのか



おお たけ かず き
大竹一樹議員の

一般質問

町の農業は「産業」か？

産業としての収益力強化と担い手対策が重要——町長

問 農業を産業としてとらえるには、持続可能な継続的な収益性があることが考えられる。町の想定、期待する担い手とはどのような年齢層か。また、農産物の付加価値を高めていくためには、六次化にもより力を入れるべきと考えるが、町の取り組みは。

答 町長 町の農業は定年後帰農の方を含め、集落営農組織や認定農業者

が主体で、認定農業者23名の平均年齢も65歳と高齢です。町の想定・期待する担い手は、年齢層を問わず、やる気のある方で、将来を見据え持続可能な体制を構築するため、若い担い手の確保も必要と考えています。

六次化は、町では農林水産物活用生産・加工施設等支援事業補助金を活用し、町内農林水産物で加工品を製造する生産者

の応援と町が整備した加工所での加工品を販売しています。今後もふるさと納税返礼品や物産販売などを通して町の農産物の魅力や知名度の向上を積極的に行う考えです。

問 現在、農業として安定した収益があり生計を立てるイメージができるのはカスミソウ栽培だと考えている。地域おこし協力隊も活動中だが、本

場昭和村と同じような状況で参入できるのか。

答 町長 近隣4町村で協議会をつくり同じ条件で取り組めるよう情報交換しています。就農して頂いた方が、途中でやめることのないように支援をしていきたい。

問 中川地区の水田は圃場条件が悪い、担い手がないなどの暗い話が多い。営農組織化、集約化

を進め、地区のやる気を醸成したいが。

答 町長 町としては大事な景観であると認識しています。水田の再整備について担当課に方法について指示している。まずは、中川地区でどのような地域にするのかを考えていただきたい。

議員のひと言
暮らしの「イメージ」ができることが大切です！

文化財はどう残す？

観光への活用を——教育長

問 今年度、旧五十島家の屋根葺き替えや中丸城跡遊歩道整備、自然教育村会館での事業等、町文化財の修繕や活用事業が行われた。町では文化財をどの様に残し、町の振興に寄与させていく考えか。

答 教育長 現在、町に

は県指定重要文化財が2件、町指定重要文化財が22件あります。

現在は、文化財専門アドバイザー、福島大学、新潟大学の先生方のご協力を得、少しずつ町内の土器や民具の整理と調査を進めています。また、来年度は教育・文化振興

活動に地域おこし協力隊の任用も決定しており、今後の展望に期待がもてる状況となりました。

今後の活用は、文化財を観光に活用する取り組みがまず考えられます。今年度は10月に中丸城跡で山城ガイド安全管理講習会を、人材確保と育成

の一環として行いました。旧五十島家住宅について、来年度パンフレットを作成し、広くその価値をPRしたいと考えております。文化財活用により、人の流れが生まれ、やがて町の振興につながることを期待しております。

町民との懇談会

金山町議会では、町民の皆さんとまちづくり、地域づくり、地域課題等について懇談し、議員活動に活かしていくため今年度「おらほの議員としやべつてみませんかの会」を各地区で開催を予定しています。下大牧地区で開催された内容について紹介します。

議長あいさつ

「開かれた議会」を目指している中で

●町民の声を町政に届けるには、議会から地域に向いて地域の皆さんの思いを教えていただき町政に反映したい。その思いで会を開催しました。

(地区からの質問) 耕作放棄地の利活用について

(質問) 高齢化により維持管理が極めて困難。地区としては鳥獣対策、景観上何とかしたいがマンパワー不足で手をこまねいている。

(議会から)

有害鳥獣対策として草刈等緩衝帯の設置を町で



11月15日 下大牧集会所で開催
議員7名参加で意見交換をしました

普請作業について

行っている。実施回数は1回。地区からの要望箇所が増える中で委託先、作業従事者確保が大きな問題になってくる。

(質問) 年数回の普請作業

が少数世帯、高齢化で刈り払い機での作業が困難。現在は最低限の道刈りが精一杯。町が刈り払い、除雪機械作業に特化した作業者団体の組織化ができないか。

(議会から)

今までは山道、水路の維持管理は共助の考えで各集落が行ってきた。町へ現状を説明し公助への方向性を考えていただきます。除雪については、各行政区への小型除雪機械の貸与と社会福祉協議会が仲介しての事業の2つがある。

議員管内視察報告

11月11日議員8名全員で管内視察を行いました。

●カスミソウ栽培農家意見交換

(目的)

カスミソウ栽培農家3名の主な栽培箇所が約30年以上前に農地造成し未利用地の川口上野地内である。栽培にあたり問題や課題がないのか。また、面積拡大等の場合の課題や問題、新規就農者に何が必要なのかを伺うなどの意見交換を行った。



川口・上野地内のカスミソウ栽培地

(意見交換)

●町の協力を得ながら面積拡大を図っている。
●熊対策が必要。

し等半年経過後での見学。



切符販売事務室

●旧五十島家住宅見学

(目的)

「県重要文化財(建造物) 昭和53年指定。屋根葺き替え工事が完了し、今後の保存・利活用について説明を受けた。



旧五十島家住宅内部

●会津川口駅窓口業務見学

(目的)

今年度より切符販売の委託開始。町民の利用状況、観光客へのおもてな

今回の補正は、物価高騰対応のため国・県・町から臨時的に支援を行うもの。

事業名	事業内容	事業費 (万円)
物価高騰対応 非課税世帯等 臨時特別給付金	住民税非課税世帯給付金 ・支給額 36,000円／1世帯 ・対象世帯 令和6年度住民税非課税世帯 支給時期 4月上旬頃 問合せ先：保健福祉課	1,522
物価高騰対応子育て 支援臨時特別給付金	子育て世帯応援給付金 ・支給額 20,000円／1人 ・対象者 町内に住所を有する18歳以下の子供（高校寮入 寮生は除く） 支給時期 2月中旬頃 問合せ先：保健福祉課	210
物価高騰対応消費 下支え商品券発行	町内に住所を有する町民（特養施設入居者、高校寮入寮生は 除く）へ「妖精の里商品券」を支給 ・1人 10,000円分 支給時期 2月下旬頃 問合せ先：商工観光課	1,650

臨時会では、一般会計補正予算で物価高対
応の交付金事業費が可決されました。

1月22日第1回臨時会

議会活動報告（視察受入）

●北塩原村議会議会運営委員会

研修日…11月28日

研修内容

(1)議会改革の取り組みに
ついて

●議会基本条例の制定に
ついて

●議会ハラスメント防止
条例に制定について

(2)住民に開かれた議会づ
くりについて

(3)特定地域づくり事業協
同組合設立までの経過と
取り組みについて



研修風景

(質疑について)
(1)について
●ハラスメント防止条例
は県内で初めて制定の議
会。進め方は。



参加者集合写真

↓条例内容についてグル
ープラインの活用。ま
ずは条例制定を優先
に。

(3)について

●春・秋の農業、冬の除
雪・スキー場の組合せが
可能。村が消極的。

↓数名の議員で総務省に
勉強に行き、町に詰め
寄りできた。

女性の応募が多く、
産休時の対応が未だ決
まっていない。
など、活発な意見交換が
できました。

議会会議録・一般質問動画(録画) 町公式ホームページ掲載のお知らせ



↑会議録は
こちらから



↑動画配信は
こちらから

議会会議録 について

議会だよりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。
ホームページには全文記載されていますので是非、ご覧ください。

(金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会会議録](#)

[令和6年議会会議録](#)

一般質問の動 画配信(録画) について

各議員(質問者)ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は50分です。本会議
での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。

(金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会動画配信](#)

[令和6年一般質問](#)



いい所探しの年にしましょう

遅ればせながら、新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

”力強く活気あふれるという辰年“から、”新しいことが始まるといわれる巳年“に禊を渡し新しい年がスタートしました。

初めに、昨年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」、9月21日に発生した「令和6年能登半島豪雨」の被害によって、お亡くなりになられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われたすべての方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、今年は「巳年」。巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年ともいわれています。脱皮をする蛇のイメージから巳年は「復活と再生」を意味します。これまで培った歴史と伝統を大切にしながら、一方では殻を破って新たな道を切り開くことが必要とされます。

へビは何かと嫌われる動物ですが、へビにも探せばいい所がありそうです。悪い所を探すばかりでなく、どんな悪政でもいいところがある。悪い制度でも上手に使う。そんないい所探しの年にしたいと思います。

へビのように柔軟ですばしこく、そして効率よくスリムな町政になり、町と議会が車の両輪のごとく回っていくよう、町民の皆様方と共に努力していきたいと思っております。

(栗城康太郎)

令和7年新春交歓会

1月7日、開発センターで開催され、各行政区長、各団体の代表者、町議会議員など約50名が出席しました。

押部源二郎町長、小熊慎司衆議院議員(代理)、山内長県議会議員等から年頭のあいさつをいただき、全員による乾杯で新春をお祝いしました。



参加者による乾杯

ごあんない

次回の定例会は、3月7日頃開会予定です。

一般質問は3月10日頃となります。

「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕

議長 五ノ井義一

〔編集委員〕

委員長 横田 正敏

副委員長 安藤 雅朗

委員 坂内 一樹

〃 大竹 一樹

次回、金山町議会だより第229号は、5月上旬頃発行予定です。